

長井市第六次総合計画 前期基本計画の成果について

I 第六次総合計画について

(1)これまでの総合計画

- ・長井市ではこれまで、6つの総合計画を策定
- ・時代に合わせたテーマや目的を設定

長井市総合計画

(昭和45年12月策定)

- 基本構想・計画の年次
1970年(S45)～1979年(S54)

○計画の目的

- ・統一のない場当たり行政では、当面するこれらとの問題を解決することは不可能。
- ・経済社会の変動の激しい時代にあって行政は常に変化に対応できるように体制を整備する。
- 市政の総合計画策定の必要性

第二次長井市基本構想

(昭和53年6月策定)

- テーマ
水と緑と花のながい、活力とやすらぎのまち
- 基本構想の年次
1978年(S53)～2000年(H12)
- 基本計画の年次
1982年(S57)～1990年(H2)
- まちづくりの目的
 - ・基本構想により、望ましい将来像を描きまちづくりの目標を設定する。
 - ・基本計画の策定方向を明確にし、市政運営の方針とする。
 - ・まちづくりに市民が参加することで、積極的な活動の展開を期待する。

第三次長井市基本構想・基本計画

(平成5年3月策定)

- テーマ
水と緑と花のながい～生活の舞台のあるまち～
- 基本構想の年次
1993年(H5)～2011年(H23)
- 基本計画の年次
1993年(H5)～2002年(H14)
- 構想の目的
 - ・21世紀の本市の将来像を描き、まちづくりの目標を設定する。
 - ・目標、施策の大綱を明らかにし総合的で計画的な基本計画の方向性を示し、市政運営の指針とする。
 - ・まちづくりへの市民参加の概念を明確化し、市民の英知と熱意をまちづくりの実践活動に結集できるようにし、市、市民、企業の役割分担と協力のもとに、積極的な活動を展開し真の市民自治を確立する。

第四次長井市総合計画

(平成16年3月策定)

- テーマ
協働・創造・未来の鼓動 実感“ながい”
- 基本構想・基本計画の年次
2004年(H16)～2013年(H25)

○市の将来像

- ・市民と行政が手を携えて協働による街づくりに取り組み、市民が能力を発揮できる新しい社会のシステムを創造し、また、独創的で旺盛な経済活動により新しい価値を創造し、未来を切り拓いていくこうとする強い動きを実感することができるまちを将来像とします。

長井市第五次総合計画

(平成26年3月策定)

- 計画の目的
人口減少に向き合い、30年後も50年後もしあわせに暮らしていく「持続可能なまち」を形成する
- 市の将来像
みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井
～人にぎわい 心かよう 水のふるさと～

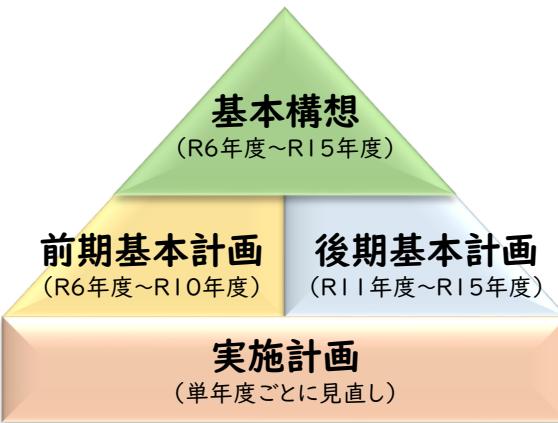
- 基本構想の年次
2014年(H26)～2023年(R5)
- 基本計画の年次
前期:2014年(H26)～2018年(H30)
後期:2019年(H31)～2023年(R5)

長井市第六次総合計画

(令和6年3月策定)

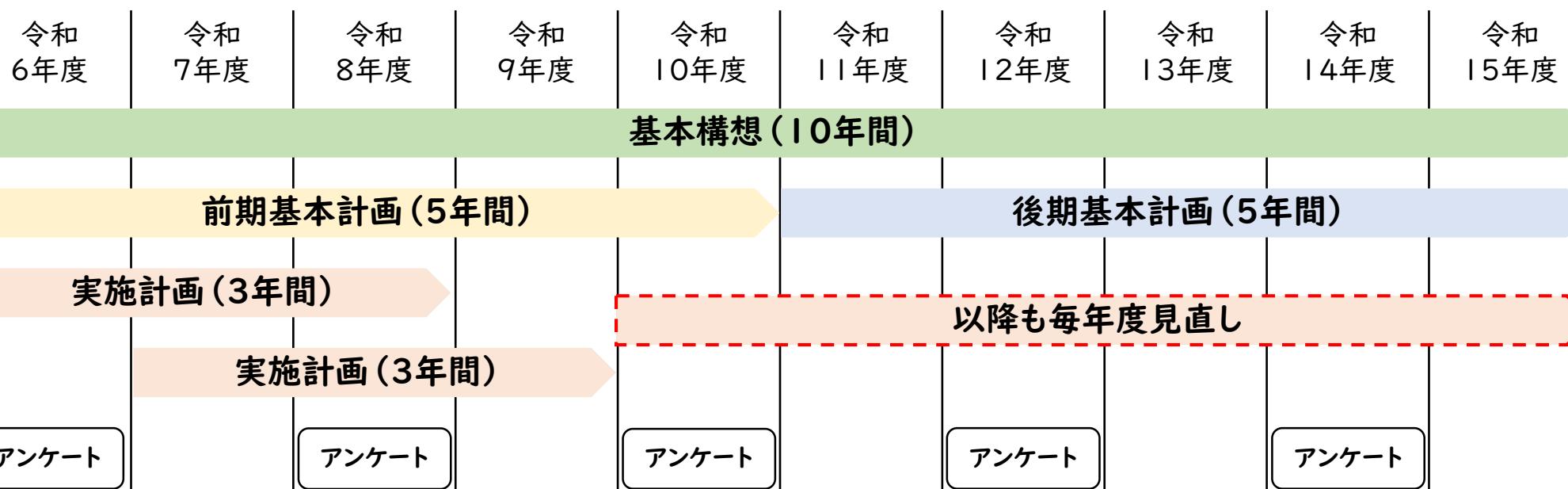
- まちづくりの基本理念
 - ・すべての市民がしあわせを感じて暮らせるまちを創る
 - ・10年後、20年後、その先の未来もしあわせを感じて暮らせるまちを目指す
- 市の将来像
みんながしあわせに暮らせる長井
～ずっと笑顔あふれるまち～
- 基本構想の年次
2024年(R6)～2033年(R15)
- 基本計画の年次
前期:2024年(R6)～2028年(R10)
後期:2029年(R11)～2033年(R15)

(2) 第六次総合計画の構成と期間



- 第六次総合計画は10年間の基本構想と、前後期各5年間の基本計画で構成
- 総合計画を実行していくための計画として、3年単位の実施計画を毎年度作成

- **基本構想** (10年間／変更しない) … 基本理念、将来像、まちづくりの目標
- **基本計画** (5年間／前期・後期) … 重点戦略、分野ごとの目標や事業
- **実施計画** (3年間／毎年度作成) … 毎年度の具体的な事業の内容、予算等



(3) 前期基本計画の構成

基本計画は、基本構想で定めた5つの基本目標の達成に向けて分野ごとに取り組む主要施策や各分野を横断して重点的に取り組む重点戦略の内容を示すもの

まちの将来像

「みんながしあわせに暮らせる長井 ～ずっと笑顔あふれるまち～」

基本目標

分野

主要施策

基本目標1
安心して健やかに暮らせるまちづくり

1-① 防災・危機管理
1-③ 交通安全・防犯・相談
1-⑤ 福祉

1-② 環境・エネルギー
1-④ 保健・医療
1-⑥ 子育て

基本目標2
夢を育み元気に活躍できるまちづくり

2-① 学校教育
2-③ 文化・芸術

2-② 社会教育
2-④ 生涯スポーツ

基本目標3
産業の活力あふれるまちづくり

3-① 農林業
3-③ 商業・サービス業
3-⑤ 雇用

3-② 工業・流通業
3-④ 観光

基本目標4
住みやすく住み続けたくなるまちづくり

4-① 都市・住まい
4-③ 上下水道
4-⑤ 公共施設

4-② 道路・河川
4-④ 公共交通

基本目標5
ともに創る持続可能なまちづくり

5-① 交流・定住
5-③ 広報・公聴
5-⑤ 行財政

5-② 地域づくり
5-④ デジタル

各
主
要
施
策

3つの重点戦略に基づき、分野を横断した事業に取り組むことで他の施策を牽引していく

若者が活躍できるまち
プロジェクト

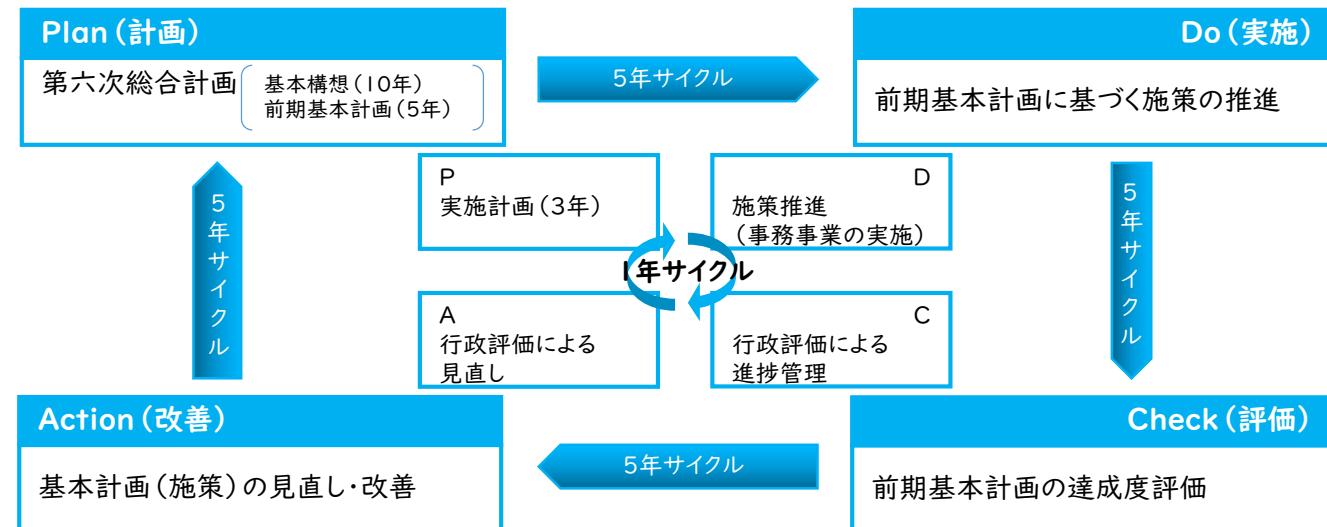
世代を超えて支えあうまち
プロジェクト

長井の魅力を活かすまち
プロジェクト

(4) 総合計画の進行管理について

①PDCAサイクル

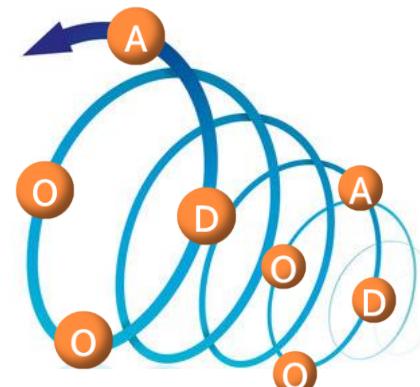
(予め決められた時期に実施)



+ 相互補完的に活用

②OODAループ

(緊急性に応じて即時実行)



Observe (観察)

現状の認識

Orient (状況判断)

観察結果から状況を判断

Act (行動)

決定事項を実行

Decide (意思決定)

具体的方策・手段の決定

素早く回す

③振興審議会による進行管理

i 行政評価について

- 市で行った行政評価について、毎年度、振興審議会に報告
- 評価をもとに、委員から今後の市の事業展開等について提言

ii 市民アンケートについて

- 令和6年度から2年に1度市民アンケート調査を実施し、結果を振興審議会に報告
- 委員からアンケート調査の結果を受けた市の事業展開等について提言

2 前期基本計画の主な取組（重点戦略）

（Ⅰ）若者が活躍できるまちプロジェクト

i 教育・子育ての満足度向上

▷ 子育てサポートの充実

- ・多機能型図書館と、子育て世代活動支援センターを兼ね備えた遊びと学びの交流施設「くるんと」が令和5年8月にオープン。
- ・「くるんと」の利用者数は約29万人、うち子育て世代活動支援センターは13万人が利用。（令和7年3月時点）



ii ニーズに合った住まいの提供

- ・良質な住環境の提供や住宅取得・リフォームへの支援として、各種補助事業の実施。



重点戦略の共通する目標

「一人ひとりが輝く インクルーシブなまちづくり」

▷ 魅力的な教育環境づくり

- ・市内すべての小中学校にALTを配置。また、「ALTプログラムコーディネーター」の配置により英語教育を充実化。
- ・GIGAスクール構想に基づき、1人1台のタブレット端末や電子黒板等の整備により多様な学びを実現。
- ・小学生や中高生を対象とした起業体験ワークショップを実施。これまで合計163名が参加。



iii 長井で働く魅力の向上

▷ 魅力的な働き先の確保

- ・産業振興と新たな雇用の場を創出するため、長井南産業団地の造成を行い、企業誘致を実施。



▷ 多様な働き方のサポート

- ・TAS2階でインキュベーション施設「イノベーションLab.長井 i-bay」を運営。
- ・また、TAS2・3階でコワーキングスペース、ワーケーションルーム等の運営。



◆プロジェクトの効果（人口減少社会への対応）

若者が定着し、次の世代へと命が続いていくことで
“まちの未来を紡ぐ”

(2) 世代を超えて支え合うまちプロジェクト

i 地域における各種活動の充実

- 市内6地区において、各コミュニティセンターを中心とした地域づくり活動への支援。令和6年度はコミュニティセンター事業への参加者数は24,352人。
- 自主防災組織（組織化率100%）等における研修会の実施回数は令和6年度で15件。



iii デジタル技術の活用

▶ 「スマートシティ長井」実現事業の推進

- スマートストアの運営やデジタル地域通貨「ながいコイン」の運用、鳥獣害対策としてモーションカメラの設置、6地区対抗eスポーツ大会などを実施。



▶ マイナンバーカードの活用

- マイナンバーカードの活用シーン拡大として、公共施設等入退所記録システム、スマートロックシステム、図書館カードとしての利用の3種のシステムを導入。



ii 関係団体との連携による支え合いの推進

- 除雪など生活に困りごとのある高齢者のみの世帯などを地域で支える体制として、各地区コミュニティセンターを中心としたボランティア活動を実施。
- 令和6年度は除雪活動を各地区合計で84回の出動実績。



▶ 各種市民サービスにおけるデジタル化

- 統合型GIS（公開型GIS・公図デジタル化）整備事業や児童センターICT化事業、訪問看護における電子カルテ導入事業、文化財等のデジタルミュージアム化を実施。



◆プロジェクトの効果（人口減少社会への対応）

支え合いの機会や場の創出によって
“市民同士のコミュニティを紡ぐ”

(3)長井の魅力を活かすまちプロジェクト

i 中心市街地の活性化

➤ 中心市街地の公共施設への誘客促進

- ・旧長井小学校第一校舎は「学び」と「交流」の拠点として、関係人口拡大に寄与。令和6年度の来館者数は60,914人。
- ・スタインウェイフルコンサートグランドピアノをご寄贈いただき、市民文化会館を会場としてインクルーシブなコンサートを開催。



➤ 産業振興交流拠点「タスパークホテル長井」の再整備

- ・新産業振興の拠点となる「タスパークホテル長井」は大規模リノベーションを実施し、ワーケーション、ヘルスツーリズムなど様々な滞在ニーズに応えられる施設として、令和6年4月にリニューアルオープン。



➤ 商店街へと回遊したくなるまちなかの魅力向上

- ・新たにオープンした「くるんと」への集客力を活かし、公共空間を中心とした賑わいを創出。



ii 交通ネットワークの確保

- ・市営バスの路線や時刻表の見直し、市営バスとフラワー長井線との接続、各コミュニティセンターからの接続等を調整し、都市機能を有する中心市街地や公立置賜総合病院へのアクセス・利便性の向上を図る。



iii 芸術・文化や地域の特色の活用

➤ 地域における観光客受け入れ体制の構築

- ・長井市、南陽市、白鷹町、飯豊町、小国町の2市3町で連携した、地域連携DMO「やまがたアルカディア観光局」を設立し、市内事業者とともに民間手法を取り入れた商品の企画・販売を実施。



➤ 重要文化的景観に選定された町場景観や文化財を活用した誘客促進

- ・重要文化的景観整備活用計画に基づき、重要な構成要素建造物の修繕を実施。
- ・新長井市史編纂事業を通して収集した資料や保有する美術・歴史資料のデジタルアーカイブ化を推進。



◆プロジェクトの効果(人口減少社会への対応)

市民の活躍を後押しし、にぎわいを生み出すことで
“活力あるまちと心豊かな暮らしを紡ぐ”